

令和 2 年 度

事 業 報 告 書

(自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 3 1 日)

社会福祉法人 南部町社会福祉協議会

1. 法人運営事業

(1) 法人運営会議の開催

南部町社会福祉協議会の組織経営体制の強化のため、次の会議を開催した。

会議名	開催回数	開催日
理事会	2回	〈第1回〉令和2年5月25日、(書面会議)
		〈第2回〉令和3年3月16日
評議員会	2回	〈第1回〉令和2年6月9日、(書面会議)
		〈第2回〉令和3年3月23日

(2) 監査会の開催

理事の業務執行状況・法人財産状況の監査会を実施した。

監査名	開催回数	開催日
中間監査会	1回	令和2年11月16日
決算監査会	1回	令和3年5月18日

(3) 委員会の開催

専門的事項について意見具申を求めるための委員会を開催した。

委員会名	開催回数	開催日
南部町共同募金運営委員会	2回	(第1回)令和2年5月25日
		(第2回)令和3年3月16日
屋内ゲートボール場運営委員会	1回	令和2年5月(書面会議)

(4) 役員・評議員の研修会の実施

各研修会は新型コロナウイルス感染症対策により中止となる。

- ア) 青森県市町村社協連絡会総会・役職員研修会 青森市
(総会：書面会議、研修リモート参加)
- イ) 三戸郡社協役員・評議員研修会 五戸町 (中止)
- ウ) 第70回三戸郡社会福祉大会 中止
- エ) 第69回青森県社会福祉大会 中止

(5) 会費・会員の増強と財政基盤の強化

南部町行政員・町内会長の協力により、社会福祉協議会会費の徴収に努めた。

年度	住民会費	賛助会費	加入率	特別会費	合計額
平成28年度	5,203,300円	104,000円	71.9%	395,000円	5,702,300円
平成29年度	5,115,900円	86,000円	69.3%	360,000円	5,561,900円
平成30年度	5,020,000円	94,000円	68.0%	450,000円	5,564,000円
令和元年度	4,952,700円	92,000円	66.0%	385,000円	5,429,700円
令和2年度	4,928,000円	78,000円	66.7%	405,000円	5,411,000円

(※加入率=会費納入者世帯数÷令和2年9月1日現在の南部町世帯数 4,985/7,476)

(6) 職員間の連携と組織の効率化

法人運営及び介護保険事業の幹部職員による、会議を毎月定期的に行い、事業間の連携強化と職員の協力体制の構築に努めた。(社協月例会議 12回 開催)

(7) 職員の自己研鑽と資質向上のための研修会開催

新型コロナウイルス感染症対策により各種主催の研修会が中止となったが、リモートでの研修が受けられるようリモート環境を整え、研修を行った。

- ・ 県社協主催 (1研修 1名リモート参加)
- ・ 県共募主催 (1研修 1名リモート参加)
- ・ 町主催 (2研修 地域ケア会議 3名参加)
- ・ 居宅他法人との事例検討会 (2研修 14名リモート参加)
- ・ 主任介護支援専門員研修 (2研修 2名リモート参加)
- ・ 介護従事者感染対策によるリモート研修 (介護職・介護支援専門員 全員受講)
- ・ 災害ボランティア研修 (本部4名リモート参加)

(8) 屋内ゲートボール場「すぱーく名川」の運営事業の実施

生涯スポーツの振興や高齢者の生きがいとコミュニティづくりのため、安全かつ安心して利用することができるように施設の維持管理を実施した。(新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年11月20日から令和3年3月31日まで132日間、貸出を停止した)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	利用人員	時間	利用人員	時間	利用人員	時間	利用人員	時間	利用人員	時間
ゲートボール	1,036	243	1,047	220	709	238	444	213	191	69
グラウンドゴルフ	870	58	900	60	960	64	942	63	0	0
ペタンク	525	69	543	72	529	79	586	89	256	57
サッカー・フットサル	1,794	247	1,329	185	1,007	106	893	81	794	98
その他	1,500	80	1,505	80	2,010	82	733	37	205	19
減免対象者	5,218	354	3,878	291	3,903	318	2,694	319	630	75
合計	10,943	1,051	9,202	908	9,118	887	6,292	802	2,076	243
比較増減	△1,21	△139	△1,741	△143	△84	△21	△2,826	△85	△4,846	△559

(9) 指定管理事業

① 南部町名川老人福祉センター管理運営事業の実施

南部町名川老人福祉センターの運営管理業務の実施にあたり、「南部町老人福祉センター条例」並びに「条例施行規則」を遵守し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、町民が安全かつ安心して利用が出来るよう、防犯・防災体制の万全を図り管理運営業務を実施した。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
稼働日数	※206日	311日	310日	312日	311日
利用者数	5,264名	6,136名	4,848名	4,159名	3,652名

※浴室天井修理(3ヵ月間休館)

② 南部町デイサービスセンター管理運営事業の実施

指定管理事業の実施にあたり、「条例」を遵守し、利用者が安全かつ安心して利用が出来るよう、防犯・防災体制の万全を図り管理運営業務を実施した。

(デイサービスセンターひろば)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
稼動日数	312日	311日	310日	312日	311日
利用者数	8,685名	8,411名	8,481名	8,465名	7,520名

(デイサービスセンターあじさい)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
稼動日数	363日	363日	363日	364日	363日
利用者数	8,333名	6,719名	6,568名	7,006名	7,459名

2. 地域福祉事業

(1) 日常生活自立支援事業の実施

高齢者や障がいがある方で判断能力の低下や、日常の金銭管理をうまく行えない方を対象に、福祉サービスの手続き代行や金銭管理などの支援を行い、利用者の在宅生活の援助に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
契約利用者数	9名	13名	12名	13名	10名
生活支援員数	6名	6名	6名	6名	6名
延べ支援回数	109回	144回	144回	172回	162回

(2) ボランティア活動の振興

① ボランティアセンター設置事業の実施

ボランティア登録団体や個人に対して情報提供や連絡調整を行い、ボランティア活動の需要と供給のパイプ役としての中間支援に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
個人登録者	20名	20名	20名	21名	16名
登録団体数 (人数)	6団体 (239名)	7団体 (207名)	8団体 (271名)	9団体 (290名)	9団体 (183名)
ほのぼの協力員	391名	370名	360名	313名	298名
安心電話協力員	184名	136名	137名	118名	85名
除雪ボランティア	206名	330名	352名	146名	182名
福祉教育サポーター	18名	18名	22名	22名	19名

② 南部町ボランティアひろばの開催

新型コロナウイルス感染症拡大により中止とした。

③ ボランティア各種研修会の参加

各種ボランティア研修会が新型コロナウイルス感染症対策として中止となる。

④ ボランティア活動促進事業の実施

登録するボランティア会員に対し、ボランティア保険加入に要する費用を助成し、コロナ対策として安心して活動を行うことが出来る体制をつくりマスク、消毒液の配布を行った。

(3) 心配ごと相談所開設事業の実施

日常生活におけるあらゆる悩みや心配ごとについて、毎週月曜日から金曜日、午前8時15分から午後5時まで、社会福祉協議会職員が相談に応じて、町民の心配ごとや悩みごとの解消に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
相談所開設日数	246日	247日	247日	243日	246日
相談件数	17件	19件	17件	22件	27件

(4) 緊急食糧提供事業の実施

赤い羽根共同募金配分事業により食料を準備して、緊急的対応として生活困窮者5世帯、5名に28日分の食糧を緊急的に提供した。

(5) 広報発行事業の実施

社会福祉協議会の広報誌を隔月に発行して、ボランティア活動を始め地域の福祉行事や活動を紹介し、町民に社会福祉の情報を提供し、啓発・宣伝に努めた。

情報紙発行名	発行回数	配布世帯等
社協情報紙「ふくしのはあと」	年6回	南部町内毎戸配布、関係機関団体

(6) 福祉フェスティバル事業の実施

第15回南部町社会福祉大会開催（書面大会）

- ・開催日 令和2年11月6日（金）
- ・内容 福祉関係者功労者表彰（14個人・4団体）

(7) たすけあい資金貸付事業の実施

低所得世帯の自立と生活意欲の助長促進を図るため、資金貸付の相談と償還指導を行った。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
貸付件数	0件	0件	1件	0件	1件
貸付金額	0円	0円	50,000円	0件	50,000円
償還金額	28,000円	54,000円	15,000円	28,000円	62,000円

(8) NHK地域歳末たすけあい配分事業

・各種団体の年末年始事業への配分

地域歳末たすけあい配分事業として、町内の障がい者関連団体からの申請により、年末・年始における交流事業に対して活動資金の配分事業を行った。

(配分団体数 1 団体 ・ 配分金額 28,500 円)

(9) 福祉団体等の指導育成事業の実施

福祉団体の事務局を担当して、関係機関・団体との連携を図りながら、自主・自立活動の支援と運営の強化に努めた。

- ① 南部町民生委員児童委員協議会
(名川地区・南部地区・福地地区)
- ② 南部町老人クラブ連合会
- ③ 南部町身体障害者福祉会
- ④ 南部町遺族会
- ⑤ クレーンタートル (母子寡婦福祉会)

会員の高齢化と減少のため令和3年3月31日付で解散

(10) 無料法律相談事業の実施

法律の専門家による無料法律相談所を開設して、町民の法的トラブルや悩みごとの解消に努めた。

- ・ 1回目 令和2年 8月25日 (火) 13:30～15:30 〈ぼたんの里〉 相談2件
- ・ 2回目 令和2年10月20日 (火) 13:30～15:30 〈健康センター〉 相談0件
- ・ 3回目 令和2年12月15日 (火) 13:30～15:30 〈ゆとりあ〉 相談4件
- ・ 4回目 令和3年 2月16日 (火) 13:30～15:30 〈健康センター〉 相談2件

(11) 生活福祉資金貸付事業の実施

青森県社会福祉協議会が実施している資金貸付の窓口として、低所得世帯・高齢者世帯・障がいを持つ方々の世帯を対象に相談と償還指導を行い、その世帯の自立支援に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少等により生活資金が必要な方へ特例貸付による支援を実施した。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
今年度貸付件数	2件	1件	1件	0件	6件
貸付金額	40,000円	500,000円	247,000円	0円	1,100,000円

(令和2年度貸付は全て特例貸付)

(12) レクリエーション機器貸出事業

団体や施設、町内会、学校、幼稚園等のレクリエーション等に使用する各種機器を無料で貸出し交流会等の支援に努めた。

- ・ポップコーン機 (0回) ・綿菓子機 (2回) ・焼芋機 (1回) ・ポン菓子機 (1回)
- ・プロジェクター (1回) ・アンプ・マイク(0回) ・テント (0回)
- ・レクリエーションゲーム用品 (8回) ・ミシン (1回)

3. 高齢者福祉事業

(1) 地域ふれあい交流会助成事業の実施

地域住民により編成されたグループ(町内会・ボランティアグループ等)が行う、地域の高齢者等を対象とした「地域ふれあい交流会」に助成金を交付して、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちになり暮らし高齢者の社会的孤立と孤独感の解消に向けた交流会は、コロナ禍により本年は申請件数はなかった。

(2) 福祉機器・介護用具貸付事業の実施

在宅の高齢者や障がいを持つ方々を対象に、ベッドや車いすを貸与して、要介護者とその家族の生活支援に努めた。(無料貸付)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ベッド貸出回数	26台	11台	7台	9台	8台
車いす貸出回数	34台	35台	29台	24台	8台

(3) 福祉機器整備事業の実施

車いすや特殊寝台の福祉機器を、町民に安全に利用していただくために、機器の修繕と保守管理を行った。

(4) 福祉コミュニティ活動推進事業の実施

① 要援護者世帯の除雪体制づくり (赤い羽根共同募金配分金事業)

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障害者世帯を地域で見守る体制の構築のため、自力で除雪できない世帯へ町内会で除雪ボランティア活動の体制づくりを行ない、ボランティア活動保険加入や除雪対策会議に要する費用の助成、融雪剤、除雪用スコップを支給し地域コミュニティ活動の推進を図った。

(※活動町内数14町内・除雪対策会議開催11町内)

② サロン活動の開設 (赤い羽根共同募金配分金事業)

おらんど館において『お達者サロン』を運営した。コロナ禍により年1回の開催。

(5) ほのぼの交流協力員事業

① 見守りネットワーク研修会の開催

『地域での見守り活動に必要な知識』～見守りから安全な地域づくりを推進するために～と題して、行政員・町内会長・民生委員・ほのぼの交流協力員が、見守りの大切さを認識する目的での研修会はコロナ禍により中止した。

② ほのぼの交流協力員事業の実施

地域住民が主体の「見守り」と「助け合い」の活動を実施した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、ハガキでの情報収集を行い、

地域の現状を把握することに努めた。

(令和3年3月31日現在)

ほのぼの交流協力員配置数	見守り対象世帯数
329人〈前年度比16名増〉	465世帯〈前年度比29世帯減〉

(6) 軽度生活援助事業の実施

在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、訪問介護員が掃除、洗濯、調理、買物等の家事援助サービスを行い、自立した日常生活の継続と要介護状態への進行防止に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録者数	13名	3名	1名	1名	1名
延べ利用回数	500回	112回	50回	52回	52回

(7) 高齢者配食サービス事業及び「食」の自立支援事業の実施

調理が困難な高齢者及び障がいを持つ方々を対象に、365日体制により昼食と夕食を利用者宅に届け、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認と健康状態の把握に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録者数	39名	46名	49名	50名	51名
延べ配食数	10,103食	10,862食	12,312食	12,470食	14,693食

(8) 緊急通報体制等整備事業の実施 (福祉安心電話サービス事業)

ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯・障がいを持つ方々を対象に、福祉安心電話を設置して、緊急時の連絡体制づくりと、孤独感の解消に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入会済世帯数	78世帯	77世帯	74世帯	61世帯	49世帯
入会世帯数	7世帯	7世帯	1世帯	2世帯	5世帯
退会世帯数	8世帯	10世帯	14世帯	14世帯	14世帯
入会世帯合計	77世帯	74世帯	61世帯	49世帯	40世帯

(9) 在宅介護支援センター事業の実施

在宅の高齢者や要介護者、家族等の在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、地域を巡回しながら訪問指導活動を行った。

① 地域包括支援センターランチ型総合相談窓口業務 相談件数810件

② 高齢者実態把握業務 340人

③ 介護予防出前講座 2地区 2日間 参加者延べ10名

(新型コロナウイルス感染防止対策のため8地区中止)

(10) 外出支援サービス事業の実施

在宅の寝たきり高齢者等で、一般の公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、移送用車両により医療機関の受診や入退院時の送迎サービスを提供して、利用者とその家族の身体的・精神的な負担軽減に努めた。

	平28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録者数	84名	87名	75名	72名	50名
延べ利用回数	552回	683回	636回	661回	554回

4. 児童福祉事業

(1) 福祉の心を育む事業の実施

小・中校及び高等学校に出向いて、福祉講座や福祉体験学習を新型コロナウイルス感染症の対策をとりながら開催し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深め社会奉仕活動の高揚に努めた。

プログラム名	小学校	中学校	高等学校	合計
高齢者疑似体験	2回	1回		3回
車いす体験(屋内)	3回			3回
手話体験	1回			1回
心の健康教室	2回			2回
合計	8回	1回	0回	9回

(延べ参加者数 191名)

(2) 子育て支援事業の実施

① 口腔ケア教室

子どもの健やかな成長に重要な役割を果たす歯の健康づくりのため、保健師、歯科衛生士による口腔ケア教室を開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策としてすべての教室を中止とした。

② 子育て応援育児用品貸出事業

子育て支援の一環で、乳幼児の保護者に育児用品を貸し出し、子育て中の保護者に係る経済的な負担軽減を図り、次世代を担う子ども達の健やかな成長を支援した。

貸出品名	(延べ)貸出件数	保有台数
チャイルドシート	36台	39台
ベビーカー	4台	7台
ベビーラック	5台	7台
ベビーチェア	1台	1台
バウンサー	0台	3台
ベビーベット	3台	4台
歩行器	0台	1台
ベビーバス	0台	1台
計	延べ49台	

5. 障がい者福祉サービス事業

(1) 障がい者移動支援事業の実施

在宅の障がいをもつ方々が医療機関の入退院や通院するため、移送用車両により移送サービスを実施することにより、利用者とその家族の支援に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録者数	6名	8名	7名	9名	11名
延べ利用回数	257回	216回	321回	361回	278回

(2) 障がい者居宅介護事業の実施 (障がい者ヘルパー事業)

在宅の障がいを持つ方々が自立した生活を営むことが出来るよう、ヘルパーが身体介護・生活援助等、生活全般にわたるサービスを提供することにより、利用者の在宅生活における自立支援に努めた。

事業所名	南部社協ヘルパーセンター				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	5名	6名	8名	9名	9名
延べ利用回数	1,566回	741回	1,705回	2,372回	2,112回

(3) 障がい者生活介護サービス事業の実施 (障がい者デイサービス事業)

在宅の障がいを持つ方々が自立した生活を営むことが出来るよう、デイサービスセンターひろばにおいて、入浴・トイレ介助・食事介助等の日中活動のサービスを提供することにより、在宅生活における自立の支援に努めた。

事業所名	デイサービスセンターひろば				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	2名	4名	4名	4名	8名
延べ利用回数	199回	173回	280回	284回	527回

6. 介護サービス事業

(1) 訪問介護事業の実施 (ホームヘルプサービス事業)

在宅の高齢者が自立した生活を営むことが出来るよう、ヘルパーが身体介護・生活援助等生活全般にわたるサービスを、365日体制により提供した。

事業所名	南部社協ヘルパーセンター				
年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延べ利用者数	867 名	825 名	763 名	688 名	614 名

(2) 通所介護事業の実施 (デイサービス事業)

要支援・要介護状態の方を対象に、デイサービスセンターに送迎して、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを実施して、楽しく1日を過ごしてもらい、心身の向上に努めた。

事業所名	デイサービスセンターひろば				
年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延べ利用者数	8,685 名	8,411 名	8,481 名	8,465 名	7,520 名

事業所名	デイサービスセンターあじさい				
年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延べ利用者数	8,333 名	6,719 名	6,568 名	7,006 名	7,459 名

(3) 居宅介護支援事業の実施

要介護者・要支援者が介護保険サービスを利用するため相談や介護計画の作成と管理運営を行い、総合的かつ効果的に福祉サービスが利用出来るように支援した。

事業所名	南部社協ケアプランセンター				
年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
要介護利用者数	2, 6 3 2 名	2, 4 9 4 名	2, 3 7 9 名	2, 3 4 8 名	2, 0 9 0 名
認定調査数	1 6 1 名	1 6 5 名	1 5 5 名	1 5 6 名	4 5 名
介護予防利用者数	4 6 6 名	3 9 8 名	2 2 1 名	2 0 2 名	2 3 6 名
予防マネジメント数	—	1 3 3 名	2 7 7 名	3 1 5 名	2 2 2 名

(予防マネジメント数は平成29年4月の改正により受託する)

(4) 実習生・職場体験受け入れ実施

福祉人材育成として、社会福祉を専攻している学生及び社会人等を対象に、職場体験及び社会福祉に関する資格取得のため、介護実習生の受け入れを行った。

訪問介護実習

受入事業所	実習延日数	実習生人数	実習延時間
南部社協ヘルパーセンター	3日間	1名	24時間
八戸社会福祉専門学校による生徒の実習受入			

(5) 災害非常時の体制強化

①防災訓練

コロナの影響により令和2年度の南部町の防災訓練は中止となったが、コロナ禍における火災訓練を年2回実施した。

② 災害対策

令和2年7月12日（日）13日（月）大雨・洪水警報による社協災害対策会議開催。町内全域に避難勧告発令され、デイサービスあじさい等水害対策を行った。また、新たにコロナ禍における災害対策として、10月1日付で南部町社会福祉協議会職員災害マニュアルを作成し、災害に備えた体制作りを構築した。

③新型コロナウイルス感染症対策

令和2年3月18日（水）の月例会において「第1回新型コロナウイルス感染症対策会議」を行い、令和2年度は合計22回の「新型コロナウイルス感染症対策会議」を行い感染予防に係る、危機管理に努めた。

また、職員に不要・不急の外出や県をまたいだ往来には自粛を呼びかけ、職員・家族等に検温の実施をお願いし安心・安全な業務に努めた。